

海外渡航を予定しているみなさんへ

年末年始、春休みに、大学で主催している海外留学、研修以外の個人もしくはグループによる海外渡航を予定しているみなさんは、必ず以下の点に留意、準備、行動するよう心がけて下さい。

【渡航前】

1. 渡航先及び周辺地域の状況確認・事前調査

渡航先及び周辺地域の国情、テロ発生状況、感染症発生状況等について出発直前まで確認を行って下さい。

特に外務省の海外安全ホームページでレベル2（不要不急の渡航は止めて下さい）以上と判断されている地域については渡航を見合わせることを推奨します。

また、渡航先の在外公館（大使館、領事館）の連絡先や、渡航先の生活習慣、マナーについても把握しておきましょう。

◇外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/riskmap/index.html>

◇厚生労働省検疫所 <http://www.forth.go.jp/>

◇外務省の在外公館リスト <http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>

2. 各種手続き

(1) 外務省

渡航期間3ヶ月未満の場合は外務省のたびレジへ必要情報を登録して下さい。登録情報によって、自然災害、大規模事故、テロ等有事の際に在外公館が救援活動を行ったり、緊急時情報の提供を行います。

◇たびレジ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

(2) 大学

海外旅行届（留学生の方は一時出国届）を学生生活課に提出して下さい。

3. 健康管理

持病のある方は常用薬を携行するとともに、渡航先での病状悪化に備えるため、かかりつけの医療機関に英語もしくは渡航先公用語による診断書、処方箋を作成してもらい、携行することを推奨します。

また、外国語による診断書、処方箋の入手が困難な場合は下記のようなツールもあるので、利用を検討してみてください。

◇安全カルテ http://www.jstm.gr.jp/gakkai_karte.html

4. 保険の準備

日常利用している健康保険証は海外では利用できません。従って、渡航先で医療機関にかかった場合、思った以上に高額な医療費を請求されます。こうした出費をカバーするために、必ず出発から

帰国までの間を保険期間とした海外旅行保険に加入して下さい。

【渡航中】

1. 家族への連絡

渡航先へ到着後、家族へ無事到着を連絡してください。また、家族への連絡は定期的に行い、滞在先を離れての旅行等を行う場合も予定を伝えておくようにしましょう。

2. 外務省・在留届の登録

3ヶ月以上の海外渡航を行う際に登録が義務付けられています。 前述のたびレジ同様、有事の際に必要な情報提供サービスを受けたり、救援活動に必要な基本情報となります。ただし**登録は渡航先での滞在先を定めた後に行う必要がある**ので、注意して下さい。

◇在留届 <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

3. 渡航先での行動に関する留意点

比較的安全性の高い日本国内と同じ感覚で生活すると、自らの身を危険にさらすことにもなりかねません。以下の留意点を参考に、「自分の身は自分で守る」ことを心がけて下さい。

また、万が一自分自身あるいは同行者が解決困難な問題に遭遇した場合は、まず旅行代理店のヘルプデスクサービスや在外公館に相談して下さい。

(1) 渡航先での行動に際しての最優先事項

自分自身と同行者の安全確保を再優先に考えて行動して下さい。 また、渡航先のルールや法律を遵守して下さい。

(2) 単独行動を避ける

渡航先での生活に慣れてきても、可能な限り単独行動は避けましょう。

渡航先によってはスリ、窃盗が日常的・組織的に横行している場合もあるため、外出時には必要最低限の物のみ携行し、目立つ格好は避けましょう。

また、危険とされるエリアには近づかない、日没後の外出は極力避ける、見知らぬ相手から話しかけられても相手にしないなど、自己防衛を心がけて下さい。

(3) 日常の言動、SNS 等での発言に際して

文化、習慣、宗教観などの違いに起因する誤解や疑いを受けないよう、渡航先での日常の言動や、SNS による情報発信の際には十分注意して下さい。

(4) テロ等に巻き込まれるリスクを回避する

渡航先の情勢にもよりますが、政府関連機関、警察等の治安関連機関、渡航先が対立している国の政府関連機関、宗教関連施設等は、テロの標的となるリスクが高いと考えられます。外務省海外安全ホームページ上で警報の出ている渡航先においては、必要性がなければこうした施設には近づかないようにして下さい。

その他、特に欧米の先進国ではコンサート等の開催されるホール、劇場、スタジアム、ショッピングモール、空港、主要駅など、**人の集まる場所がテロの標的となるリスクが高いと考えられます。**

これらの場所で挙動不審な人物（周囲の様子を伺っている・落ち着きのない様子・頻繁に誰かと携帯電話で連絡を取り合っている・緊張感を漂わせている等）に気づいたら、迷わずにその場を離れるようにしてください。また、大勢の人の集まる場所では、常に出口の場所を確認するよう心がけて下さい。

地下鉄やバス等の公共交通機関（駅・バス停を含む）もテロの標的になりやすいため、交通機関を利用する際には、周囲に不審物や先に述べた挙動不審な人物がいないか注意してください。

更に、爆発物の可能性もあるため、不審な小包等には近づかない・触れないようにしてください。爆発物を仕掛けられやすい場所として、路上に設置されているごみ箱、ごみを捨てる場所が考えられるため、極力近づかないようにしてください。

(5) デモ、集会等に近づかない

エスカレートすると騒乱、暴動に発展して巻き込まれる危険性があるため、デモ、集会等には絶対近づかないようにして下さい。

意図せず暴動等に巻き込まれそうになった場合は急いでその場を離れ、より安全なエリアへ避難して下さい。

【帰国後】

1. 帰国届の提出

外務省への在留届を提出した方は、帰国後に帰国届を提出して下さい。

◇帰国届

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/generalForward.do?forward=/change>

2. 体調の異変に気づいたら

帰国後に体調の異変に気づいた場合は、渡航先での感染症罹患の可能性もあるため、すみやかに医療機関にかかって下さい。

以 上

2015年12月1日

学生生活課